



平成 28 年 12 月 20 日

各 位

会 社 名 東亜合成株式会社  
(URL <http://www.toagosei.co.jp/>)  
代表者名 代表取締役社長 高村 美己志  
(コード番号 4045 東証第1部)  
問合せ先 管理本部 I R 広報室長 根本 洋  
(TEL 03-3597-7215)

中期経営計画 (2017~2019 年) について  
— 東亜合成グループ中期経営計画「成長への軌道 2019」 —

東亜合成グループは、「化学事業を通じてより多くの人々とより多くの幸福を分かち合う」との企業理念のもと、新製品・新事業の創出による持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指しております。

その具体策として、本年を最終年とする中期経営計画「ALL TOA 2016 “強靱化そして創造へ”」で実施してまいりました“新製品開発”と“経営基盤の質的転換”をより鮮明に推し進めるため、東亜合成グループ中期経営計画「成長への軌道 2019」を策定しました。

本中計を 2025 年の当社グループビジョンを実現するための第一歩と位置付け、グループ一丸となって取り組んでまいります。

1. 中期経営計画「ALL TOA 2016 “強靱化そして創造へ”」実施結果

(1) 数値目標達成状況

現中期経営計画「ALL TOA 2016 “強靱化そして創造へ”」では、「次世代新製品開発」、「既存事業の生産・販売体制の強靱化と質的転換」、「魅力ある会社への質的転換」をテーマに、成長戦略・事業改革・経営改革に取り組みました。この間、原油をはじめとした原燃料価格の低下や新興国経済の成長減速の影響などから、汎用製品の販売数量減少や製品価格の下落があり、売上高と営業利益の数値目標達成は厳しい状況にあります。

表-1. 「ALL TOA 2016 “強靱化そして創造へ”」達成状況

項 目	2016 年目標	2016 年見込
連結売上高	1,700 億円	1,370 億円
営業利益	185 億円	150 億円
売上高営業利益率	11%	10.9%
当期純利益	130 億円	130 億円

(注) 2016 年見込は、2016 年 12 月 20 日対外発表数値。

(2) アクションプラン実施状況

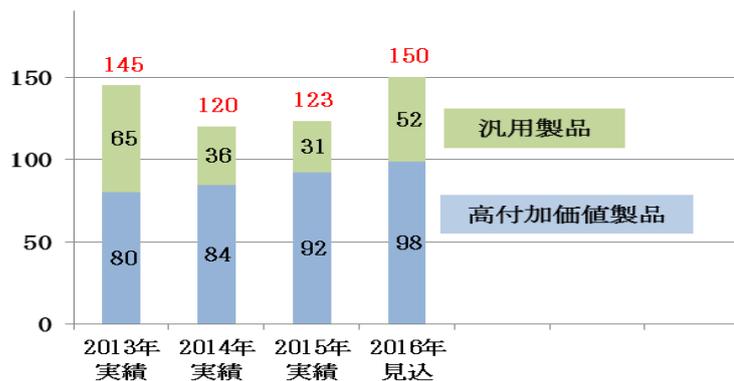
アクリルポリマー、機能性接着剤、高純度無機製品等の高付加価値製品が着実に伸長し、事業構造の質的転換が確実に進展してまいりました (図-1)。

海外展開については、アクリルポリマー製品の ASEAN 市場での拡大を目的としてタイでの製造・販売拠点となる子会社を設立しました。

また、本年 2 月「東亜合成グループ コーポレートガバナンス基本方針」を制定し、

3月には監査等委員会設置会社に移行することにより経営基盤を強化しました。

さらに、レスポンシブルケア活動の強化や従業員のワークライフバランスの充実を図り、CSR経営をより深化させました。



図－1. 高付加価値製品の営業利益推移 (単位：億円)

## 2. 中期経営計画「成長への軌道 2019」の概要

2025年の当社グループビジョンの実現に向けて、高付加価値製品事業を強化し、海外展開を含む成長戦略を推進します。また、戦略に対応した組織に改編するとともに、重要課題の実施においてはプロジェクト等を組織し、アクションプランの実行を確実なものとしします。

### (1) 2025年のグループビジョン

- ・技術と高付加価値製品で存在感のある化学企業グループ
- ・国内外で生産販売活動を展開している海外売上高比率 25%以上の化学企業グループ
- ・事業拡大を担う優秀で意欲的な社員を豊富に擁する化学企業グループ
- ・安定した収益基盤を有する売上高 2000 億円以上の化学企業グループ

### (2) 戦略に対応した組織への改編

ビジネスユニットを、成長戦略の中核を担う事業と当社の根幹を支える基幹事業に分類し、これに対応した組織に改編しました。関係会社におきましても、事業方針に準じた戦略をそれぞれ展開します。

#### ① 事業の分類

- ・成長戦略の中核を担う事業  
アクリルポリマー、オリゴマー、機能性接着剤、高純度無機化学品、無機機能材料、建材・土木、ライフサポート、エラストマー等
- ・基幹事業  
電解製品、アクリルモノマー、工業用ガス、管工機材等

#### ② 事業部の再編

- ・「ポリマー・オリゴマー」「接着材料」「高機能無機材料」の3事業部  
⇒ 海外拡充を含む成長戦略の中核を担う。
- ・「基幹化学品」事業部  
⇒ 基幹事業のコスト競争力強化と維持拡大を担う。

### (3) アクションプランの概要

#### ① 成長戦略展開

- ・成長戦略の中核として、新製品開発、新事業開発、海外展開、M&A を具体化します。新製品開発と新事業開発は、情報通信・モビリティ・エネルギーの各成長分野を重点として、市場ニーズを的確に把握しながら開発を推進します。
- ・東亜合成（タイ）での第1期としてアクリルポリマー事業を立ち上げ（2018年生産開始）、現地マーケティング体制を強化するとともに、第2期事業計画を具体化します。

- ・オリゴマー（アロニックスM・UV）の国内外の3拠点（日本・中国・台湾）を一体で運営し、新製品の相互展開とM&Aを視野に拡大を図ります。
- ・機能性接着剤は、電子部品・自動車・電池の分野を重点に新製品開発を推進します。
- ・一般用瞬間接着剤は、日米両国において、広告宣伝・新製品上市・販売活動強化によるブランド戦略を強化し、マーケットシェアを拡大します。
- ・高純度無機化学品と無機機能材料は、新製品開発を進めるとともに、東南アジア・中国・台湾・韓国・米国への拡販体制を強化します。
- ・建材・土木は、東亜合成とアロン化成が連携し、販売力を強化します。
- ・ライフサポートは、介護用新製品を継続的に市場投入し、中国市場にも展開します。
- ・エラストマーは、新機能を付与した製品を上市し品揃えを拡大します。また、東南アジアでの生産・販売体制も具体化します。

#### ②基幹事業強化

- ・基幹事業は、当社グループの経営基盤を支える事業として、生産性の改善とコスト競争力の強化を図ります。
- ・電解製品は、生産設備を更新し生産体制を強化します。
- ・アクリルモノマーは、国内の稼働率向上とシンガポール事業の構造改革を実施します。
- ・管工機材は、3工場の生産体制を最適化するとともに、災害対応・公共インフラを重点分野として、新製品を投入します。

#### (4) 中期経営計画「成長への軌道 2019」数値目標

表－2. 中期経営計画「成長への軌道 2019」数値目標

	2016年見込	2019年目標
連結売上高	1,370億円	1,550億円
営業利益	150億円	180億円
売上高営業利益率	10.9%	11.6%
当期純利益	130億円	125億円

(注) 2016年見込は、2016年12月20日対外発表数値。

2019年目標の前提条件：ナフサ価格 32,000円/k1、為替 105円/USD

#### ①投資計画

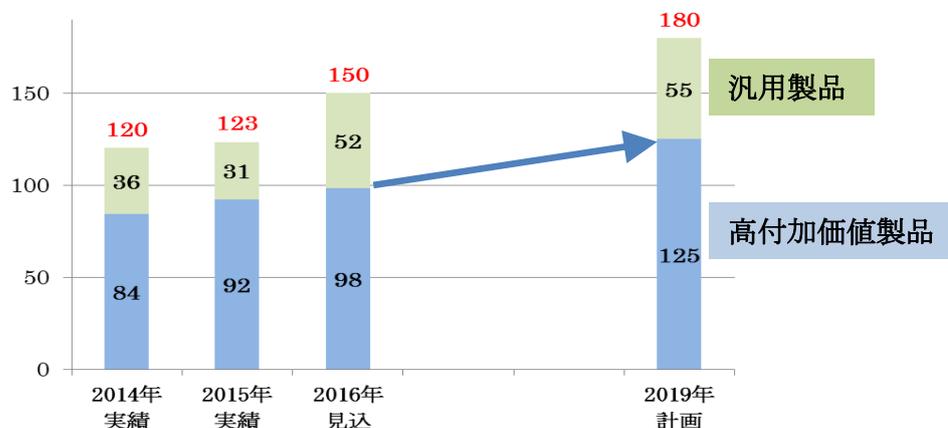
手元資金を有効に活用し、成長を促進するため、3ヶ年累計で600億円の投資を計画します。資金は自己資金で賄う予定です。

(内訳) 成長戦略展開 170億円、基幹事業強化 150億円、M&A180億円

インフラ整備・保全等 100億円

#### ②高付加価値製品の拡大

2019年までに、高付加価値製品による営業利益額を125億円以上にまで高め、経営基盤の質的転換を更に推し進めます。



図－2. 高付加価値製品の営業利益拡大 (単位：億円)

(5) 中期経営計画「成長への軌道 2019」その他重要課題

2019年に当社グループは創立75周年を迎えますが、更に将来を見据えて、経営基盤のさらなる強化と成長戦略促進のため、下記重要課題にも取り組んでまいります。

①コーポレートガバナンスの徹底

監査等委員会設置会社として、公正な事業慣行を順守し、コーポレートガバナンスを徹底します。

②経営判断の迅速化

取締役会から、経営会議・業務執行取締役への権限移譲を促進し、経営判断の迅速化を図ります。

③多様な人財が社内外で活躍できる環境の構築

多様な働き方、特に女性とシニアが活躍できる環境を構築するため、職場環境、柔軟な勤務形態、個別研修制度等を整備します。

④人財育成

マネジメント力と実務能力の向上、およびグローバル人財確保のため、人財育成制度を充実させます。

以 上